

# 「かわいそう」はもう違う！

大宮東RAC 2022 - 23 年度会長 田中れいか

私は7～18歳までの11年間を児童養護施設で過ごしました。施設出身者として「もっと自分の経験を他の多くの施設の子たちに話したい」と知人に伝えたところ、ある児童養護施設での講演会をセッティングしてくれました。その主催者が大宮東ローターアクトクラブ（RAC）でした。子どもたちと話しているうちに、私も施設にいた時に、ロータークラブの皆さんとバーベキューを一緒に楽しんだことを思い出しました。これもローターとの縁と感じ、大宮東RACに入会、現在5年目です。

せっかくローターアクトクラブに入会したからには、自分の経験を奉仕活動に生かしたいと思っはいるのですが、活動の中心だった会員が卒会（クラブ退会）した上にコロナ禍となり、私がクラブ会長を務めた昨年度は、クラブの会員基盤をゼロから立て直す段階にありました。会員増強やSNSの体制を整え直し、また児童養護施設の訪問など継続事業をこなすことで精いっぱい、ローターアクトとして、社会的養護が必要な若者たちへの支援は今、できていない状況です。

## ロータリアンの奉仕活動の懸け橋になりたい

ロータリーの会員は、世の中の支援が必要な人に手を差し伸べています。ニーズはたくさんありますが、私の経験からいうと、児童養護施設を退所した若者にも支援の「機会」があると思ってください。退所時にスーツや靴を送ってくださるクラブもあります。ロータリーの人が思っている以上に、うれしいものなのです。しかしその後、独りで生活していく中で襲ってくる孤独感、常識的な金銭管理ができない、人間関係でのつまずき……。そんな不安を和らげてくれる大人が身近にいたら、と思うことがあります。しかし施設を出て、いきなりロータリーの会員に頼っていい、相談していい、と言われても、知らない人にいきなり相談できる子はいません。時間はかかりますが、長い目を持ってほしいのです。施設にいる間に信頼関係を築けるようになれば、特にロータリアンだからできることとして、できるだけ早い段階で、さまざまな職業との出会いの機会を与えていただけたらと思います。

実は退所後、20歳ぐらいまでは、大体みんな集団生活のストレスみたいなものから解放されたい気持ちになります。私は、退所からしばらくして、自分の仕事もちょっと落ち着いて何かしたいなと思った時、ローター



児童養護施設の子供たちに自身の経験を話す田中れいかさん（中央）

アクトクラブと出合いました。ローターアクトとして、機会を得て今後、ロータリーの会員の皆さんが、施設への支援の輪を広げる懸け橋になりたいです。11月、児童虐待防止に取り組んでいる団体を支援するイベント、「ORANGE WALK」が開かれます。これは歩くことで児童虐待防止に取り組む団体への寄付になる取り組みです。よろしければ、ロータリーの皆さんもご協力をお願いします。

今、私はNPO法人「プラネットカナル」で、施設出身者の自立のための家具や生活用品、住居などを支援する広報活動をしています。また、施設出身者の情報を発信・支援する、(一社)「たすけあい」を設立し、「社会的養護」への認知を普及する活動を行っています。ロータリアンの皆さんには、一人でも多くの人に「社会的養護」について知っていただき、若者の自立支援を継続的に応援していただきたいと思っています。

(第2770地区 埼玉県) 聞き手：友編集部

**田中れいか**：1995年生まれ。親の離婚をきっかけに、7～18歳までの11年間、東京都世田谷区にある児童養護施設で暮らす。退所後、短期大学に進学し保育士資格を取得。その後、モデルの道に。ミスユニバース2018茨城県大会準グランプリ・特別賞受賞。2020年4月社会的養護専門情報サイト「たすけあい」を創設。YouTube人気動画は16万回再生を突破。著書に『児童養護施設という私のうち』(旬報社)がある。詳しくはInstagram: tanaka\_reika または公式サイト tanakareika.jimdofree.com へ→

